

● 学校へどうぞ気軽にお出かけください ●

— 10月～3月の町内各校の公開日時等 —

「いつでも・どこでも・どなたでも」町内4校の小中学校自由参観出来ます。

※来校の折りには、事務室で受付を通していただくようお願いいたします。

学校名及び問い合わせ先		 下諏訪町立下諏訪南小学校		☎ 27-5000
行事名	実施日時		対象(学年)及び内容	
校内音楽会	10 / 28 (金)	8 : 40~12 : 30	全学年	
祖父母家族参観日	11 / 12 (土)	8 : 45~12 : 00	全学年	授業参観・学習発表など
地域公開参観日	1 / 20 (金)	14 : 00~14 : 45	全学年	授業参観・学級懇談会
	2 / 9 (木)		5・6年	
	2 / 14 (火)		1・2年	
	2 / 17 (金)		3・4年	

 下諏訪町立下諏訪北小学校		☎ 27-2288		
英語授業公開	10 / 7 (金)	13 : 45~15 : 20	4・5年	英語授業・インターナショナルデー
音楽会	10 / 27 (木)	9 : 00~12 : 30	全学年	
地域公開参観日	11 / 22 (火)	13 : 45~14 : 25	全学年	人権授業参観
	2 / 10 (金)		5・6年	授業参観・学級懇談会
	2 / 15 (水)		3・4年	
	2 / 21 (火)		1・2年	

 下諏訪町立下諏訪中学校		☎ 27-3000		
学校自由参観	随 時	7 : 30~18 : 30 (部活終了まで)	全学年	部活動練習、学活、授業、給食、清掃などの学校生活の全て
地域公開参観日	11 / 7 (月)	8 : 45~16 : 00	全学年	公開授業、給食試食会
	2 / 24 (金)			公開授業、後期PTA総会

 下諏訪町立下諏訪社中学校		☎ 28-7600		
地域公開参観日 (毎日が自由参観日)	10 / 14 (金)	8 : 35~15 : 30	全学年	公開授業
	11 / 21 (月)			
	2 / 17 (金)			
30周年式典・音楽会	11 / 26 (土)	9 : 00~15 : 30	全 校	記念講演(比叡山延暦寺赤松光真住職)

 長野県花田養護学校		☎ 28-3033		
第6回学校祭 花はな祭	11 / 25 (金)	8 : 50~13 : 50	全 校	展示見学・体験、音楽のつどい、PTA作品展
	11 / 26 (土)			
地域公開参観日	10 / 14 (金)	10 : 30~13 : 40	小学部大運動会(体育館)他は授業参観	
	1 / 13 (金)		高等部は部内運動会(体育館)他は授業参観	
	2 / 24 (金)		小は授業参観、中は校内バザー、高は学習まとめ	

※下諏訪向陽高校については、下半期の地域公開授業等の行事予定はありません。

教育委員会からのお知らせ

町民総合文化祭（民公協働事業）

お出かけください！

作品展 日時：9月30日（金）～10月2日（日）

30日・1日は午前9時～午後6時、2日は午前9時～午後4時

場所：下諏訪総合文化センター

内容：華道・書道・絵画・手芸・盆栽・彫刻・陶芸などの展示

芸能祭 日時：10月2日（日）午前10時00分 開演予定

場所：下諏訪総合文化センター やまびこホール

内容：木遣り・大正琴・詩吟・踊り・ダンスなどの発表

音楽祭 日時：10月30日（日）第1部 午前10時 開演予定・第2部 午後1時

場所：下諏訪総合文化センター やまびこホール

内容：合唱・合奏・吹奏楽・ギター・語りなどの発表

※ 開演時間等のお問い合わせ：下諏訪町公民館 ☎28-0002（下諏訪総合文化センター内）

町民大学 一下諏訪を学ぶ④—

演題：「下諏訪町の大地の成り立ち」

～丸山や砥川北西部山地は、いつ、どのようにして、生まれたのでしょうか～

講師：前岡谷市教育長 北澤 和男

日時：10月16日（日）午後1時30分～午後3時00分

会場：文化センター集会室



下諏訪町地域は、諏訪盆地形成の鍵をにぎる数多くの謎を秘めた地域です。

それは丸山山体の基礎となる変成岩や深成岩の移動・隆起、今から120～250万年前の火山活動の特異性、そしてその後の構造運動による盆地側の沈み込みと山地側の北北西方向への断層変位等です。これらの調査結果から、下諏訪大地の成り立ちを紹介します。（講師コメント）

人権を考える

生きる意欲を大切に



「家のおばあちゃん、幸せすぎて幸せボケ」友人が、そう私に話してくれました。おじいちゃんやおばあちゃん、介護から解放されたのをきっかけに、おばあちゃんはおかしくなりました。おじいちゃんも、おばあちゃんのおかしくなったことが増えたといいました。共働きの家庭だったので、介護が始まる前は、子育てを手伝ったり、家事全般をやってくれていたらしいのですが、介護を機に家事から手をひき、介護もなくなった今は、何もしないいい身分になったようです。上げ膳据え膳でこんな幸せなことはない、と言っています。たまたま食器洗いをしてくれても、食器を戻す位置がその度に違うので、やっても合わないようにしていると。「何もすることがないとかえっていけないのじゃない？間違ってもいいから、やってもらえば。」という、大らかな性格の友人は、「いやいや」と面倒くさそうに手を振りました。

今話題の本『老いの才覚』（曾野綾子著）によると、老いても出来る限り自立していること、また、自分のことを自分でやっていく最低限のことを失ったらだめだと言います。生活や家事が、けっこう心身や脳を鍛えてくれるのだというのです。

親切や手助けのつもりが、かえってその人の生きる意欲や生きる力を奪うことにならぬよう自戒したいものです。

（上野）